



みはま 議会だより

3月議会
第1回定例会

第119号

CONTENTS【目次】

- 平成27年度予算可決…………… 2
- 新しい議会構成決まる…………… 3
- こんな質問がありました…………… 4
- 一般質問 6議員…………… 6

平成27年(2015年)4月25日

平成27年度予算(骨格)

61億1千万円を可決

3月定例会は、3月11日から25日までの15日間の会期で開き、平成26年度一般会計等補正予算及び平成27年度一般会計・特別会計予算など、議案27件、諮問1件について審議を行いました。

また、本定例会で文教厚生常任委員会に付託されました「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出を求める請願書」について採択とすることに決定しました。

なお、一般質問は6議員が行いました。

わが町の予算(骨格)

骨格予算とは、政策的経費を控えた経常経費のみで、継続的なもの・基本的なものを計上している。

一般会計



32億8,100万円

国民健康保険のお金 (特別会計)



12億4,700万円

和田、入山・上田井 の下水道のお金 (特別会計)



1億8,900万円

浜ノ瀬、新浜、吉原、 田井畑の下水道のお金 (特別会計)



1億8,400万円

介護保険のお金 (特別会計)



8億2,200万円

後期高齢者医療費のお金 (特別会計)



2億0,100万円

上水道のお金 (水道事業会計)



1億9,000万円

新しい議会構成決まる

第1回臨時会 就任のあいさつ



副議長 繁田 拓治



議長 鈴木 基次

平素は町議会活動にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般2月20日の臨時議会において議長に推挙いただき、身の引き締まる思いと共にその重責を全うすべき誠心誠意務めさせていただきます。どうか、今後とも皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

議長として一番の務めは、

言つまでもなく公正公明で丁寧な議会運営であります。そして、議会が住民の皆様様に信頼され、身近な存在に感じてもらうことが大切と考えます。

そのために我々議員一人一人が何をなすべきか。

町の行政運営に對してチエック機能を果たし、昨今議会にも研鑽を重ね政策提言を行うことが求められています。

併せて、住民目線を忘れずに常に言動の一致した行動に心がけていきます。

議会基本条例は、その制定が目的ではなく議会活性化へ向けての手段であります。

どうか、今後とも皆様方のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

◎田淵勝平 ○中西満寿美

碓井啓介 北村龍二

龍神初美 谷 重幸

高野 正 谷口 徹

【常任委員会】

総務産業建設常任委員会

◎谷口 徹 ○谷 重幸

碓井啓介 田淵勝平

鈴木基次

文教厚生常任委員会

◎高野 正 ○龍神初美

北村龍二 中西満寿美

繁田拓治

【特別委員会】

議会広報特別委員会

◎繁田拓治 ○北村龍二

田淵勝平 谷口 徹

高野 正 碓井啓介

龍神初美 谷 重幸

地震・津波対策特別委員会

◎高野 正 ○碓井啓介

鈴木基次 繁田拓治

北村龍二 龍神初美
谷 重幸 谷口 徹
田淵勝平 中西満寿美

【一部事務組合議会議員】

御坊広域行政事務組合議会議員
繁田 拓治

御坊市外五ヶ町病院経営事務組合議会議員
高野 正

日高広域消防事務組合議会議員
田淵 勝平

御坊日高老人福祉施設事務組合議会議員
谷口 徹

和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員
中西 満寿美



ありがとうございました!!



給与条例の改正

- Q** 人事院勧告が給料を下げる理由は。
- A** 年齢の高い者の給料を抑える目的である。
- Q** 町長は給料を元に戻すという事は7万円上げるとのことか。
- A** 今回は元に戻すということである。

教育長の任命

- Q** 教育長を議会が同意するために所信表明が必要ではないか。
- A** 前向きに検討する。
- Q** 町長が教育長を任命することになるか。
- A** より一層連携を深める。

地域包括支援センター

- Q** 地域包括支援センター運営協議会とは。
- A** 医療関係者や事業者等で構成し、地域包括支援センターの活動方針等を定める会である。

婚活サポート事業

- Q** 事業費の積算根拠は。
- A** 協議会の開催頻度は、最低年に1回は開催。

- A** 経験のある他の自治体を参考に予算化した。

プレミアム付き商品券

- Q** 詳細は。
- A** 1万円で1万4千円分の商品券を1人当たり10万円が上限の予定。
- Q** プレミアム率は40%。使用できる店舗は協議中である。
- Q** 他の市町のプレミアム率は。
- A** 日高町は40%、御坊市は30%、和歌山市等は国の想定している20%である。
- Q** 券の購入を求めて殺到すると思われるか。

- A** 過去に実績がないため、予測が困難だが、今後商工会と協議していく。

- Q** 使用期限は。

- A** 繰越事業であるため平成27年度中に完了する必要があり、かつ6カ月以内を想定している。

ふるさと納税

- Q** 実績及び今後の取り組みは。
- A** 平成26年度で4件である。
- Q** 粗品・礼状だけでなく何か手立てを講じないのか。
- A** 前向きに取り組んでいきたい。

合併処理浄化槽

- Q** 実績は。
- A** 当初は10基を予定していたが、実績は2基である。

築山

- Q** 建設についての住民説明の予定は。
- A** 3月27日に新浜、4月に田井畑、6月に浜ノ瀬を予定している。
- Q** 反対運動があった場合の対応は。
- A** 理解していただけるよう努める。



▲健康推進課内の地域包括支援センター

こんな質問が

ひまわりこども園の運営

Q 「子ども・子育て三法」も含めて、ひまわりこども園の現状及び経過について説明を願いたい。

A （全員協議会の開催・教育長より開園から現在に至る経過を報告、さらに結果を町長に報告）

A ただ今、教育長の報告を伺ったが、今後はひまわりこども園の運営を公設公営でいきたい。

Q 結論を出したことは評価するが、今後の民生費等の増大が予測される中で臨時職員の正職員化等、より経常経費の増大について町長の見解は。

A 最小の経費で最大の効果が得られるよう努力したい。

マイナンバー制度

Q どのようなものか。

A 10月1日に全住民に個人番号が通知される。

Q 住民基本台帳の番号とは別なのか。

A 併合するという情報もあるが、まだ分かっていない。個人情報及びセキュリティ



▲ひまわりこども園

ティーは。

A 所得も含め、全ての情報を網羅するのが目的。セキュリティについては中間サーバーで情報漏洩を防ぐと期待している。

高齢者の外出支援

Q 高齢者全員を対象とすれば、どれくらい必要か。

A 約1千万円必要である。

国民健康保険

Q 国保組合の県下統一は。

A 税は分担金で徴収、事務は各市町村で行う予定である。

Q 国保税の計算方法は変わるか。

A 資産割をなくして

方向である。

Q 運営協議会への諮問内容及び答申は。

A 保険税を平成27年度で前年比21・18%の増額を諮問した。

増額は理解されたが一般会計より2千万円の法定外繰入の答申が出た。

Q 増額対象に低所得者は含まれるのか。

A 含まれる。

介護保険

Q 予算規模の見直し（伸び率を抑える方法）は。

A 健康寿命を延ばし医療費を抑制していく。年に3千万円程度伸びて

おり、今後10億円を超えると思う。

Q 健康寿命を延ばす事業の成果は。

A 即座に効果というのは難しいが今後も取り組んでいく。

Q 認知症予防は。

A すでに認知症予防教室は実施しており、今後取り組んでいく。

学校給食の値上げ

Q 1人当たりの年間の値上げ額はどれくらいか。

A 200日の給食提供を想定して1日30円の値上げなので年間約6000円の値上げになる。



▲小学校の給食風景

一般質問

質問 三尾の蓮池に棧橋をつけては

答弁 町として補助を検討・・・



繁田 拓治 議員

大賀ハスの保全

質問 国民宿舎も現在閉鎖され、町の観光資源が衰退していくよつで寂しい限り。蓮池に棧橋をつけては。

教育長 歴史的文化的価値があり、町の観光等に資する可能性を鑑みた広報媒体的価値を評価、支援したい。



▲完成した棧橋

質問 材料費だけでも出していただければ、有志で建設できるが。

町長 歴史的文化的経緯を尊重、補助を検討する。

県道拡幅工事

質問 県道御坊由良線の拡幅工事が一部を残しストップしている。

県は、来年3月完成予定と明言したが。

町長 土地収用法の国交省への申請は4月初旬で国の認可は早くも7月、地権者との話し合いがつかない場合、1年以内に県の収用委員会にかけ現場着手となる予定。

質問 工期と話し合いの最終期限は。

産業建設課長 収用委員会で採択されれば最短で来年1月ごろから着手、話し合いの最終期限は7月末。

質問 早期解決を望むが、あくまで地権者との円満解決を希望する。

産業建設課長 最短の計算で県の道路課長は申し上げたと、聞いている。

市立中学生の殺害事件からラインが与えた影響

質問 ラインが与えた影響につき議論になっているが。

教育長 人との交流が盛んになる良い反面、さまざまなたラブルの根源になっている。

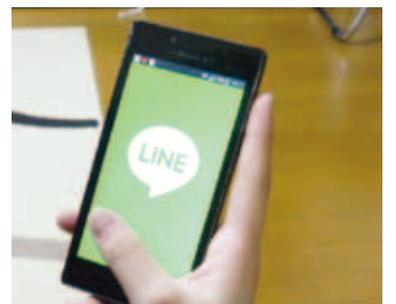
小学校で保護者に啓発し、中学校では専門家を招いて正しい取り扱いを指導。

質問 スマートフォン(ライン、フェイスブック等)に対する調査は。

教育長 今年度使用状況等のアンケートを実施予定。

質問 大人もわかるようなルールづくりが必要では。

教育長 家庭の問題である



▲LINE

と思うが、問題提起、啓発はする。

質問 子どもの貧困問題が大きな社会問題になっているが。

教育長 親の経済状況が主であるため、直接介入は難しい。

就学援助制度で対応している。

質問 心の教育については。

教育長 道徳教育で、時間をかけ少しずつ子どもの心を耕しながら、考え方が豊かな方向になるよう願う。

質問 子どもとどう向き合うか、大人の責任でもある。町を預かる町長の見解は。

町長 教育は、やはり人づくりだと思つ。

人的、物的な支援をしながら、ゆっくりじゅっくりと人づくりをしたい。

一般質問

質問 どうなっている？松原高台は

答弁 30年度までに完成したい



碓井 啓介 議員

質問 津波避難事業の進捗状況及び今後の具体的ななスケジュールは。

町長 27年度は地元への説明、各種申請等を行い、28年度に工事着手し、30年度までに完成したいと考えている。

質問 材料となる土砂などの確保及び契約は。

防災企画課長 町内での確保は難しいので町外でとなるが、契約などはまだ出ていない。

和田不毛内水対策について

質問 大雨による県道及び旧農免道路の冠水についての内水対策は。

町長 対策は冠水地域の排水が重要となるが、まず排水先である西川の堤体の強

化等、西川の改修が必要であると認識している。

県においても水系ごとに河川整備計画の策定にとりかかっているところで、西川も日高川水系なので、その整備計画に西川改修を反映していくため、今後も県に働きかけていきたいと思っています。

質問 過去10年間の冠水被害の状況は。

産業建設課長 被害の状況というのだが、大雨の際には、和田不毛内の町道も冠水し、その都度、町職員



大川橋

▲松原地区高台避難場所イメージパース

が通行止め等を行い、交通の安全に気を配っているところである。

農業関係は水稲及びキュウリ等の被害が多く報告されている。

質問 しっかりした記録はないのか。

いかに排水するかにこだわっているように思われるが、日高川水系の…となれば実際のところ何時になるか判らないと思う。

そこで道路のかさ上げだが、難しいという話をよく聞くが、なぜ難しいのか。

対応策はないのか。産業建設課長 細かな記録は残っていない。

道路のかさ上げは予算やかさ上げすると水田の排水がしづらくなり難しい。

部分、部分のかさ上げはこれからの検討課題になってくるかと思う。

質問 最初に解答いただいた被害の中に通勤・通学者は入っていないが、地方創生などの見地からも、通勤・通学者の方達などの目に見えない被害も、冠水被害だという認識の元に、1日も早い対策を立てて頂きたいと要望する。



▲冠水した美浜中央1号線昨年8月10日

一般質問

質問 浜ノ瀬海岸の侵食対策は？

答弁 県に対し恒久的な対策をお願いしている。



谷 重幸 議員

質問 これまで繰り返されている護岸の崩壊と復旧、崩壊したままでの放置、この現状をふまえ、町長の考えは？

町長 浜ノ瀬海岸に関しては、平成13年頃より侵食が顕著となり、国交省和歌山港湾事務所にお願いをし、バラスを海岸に搬入頂いた経緯があった。

煙樹ヶ浜全体を考えると土量が増加している所と減少している所がある。

質問 浜ノ瀬工区の完成をうけ、侵食の被害が出ることをどこまで認識出来ていたのか？

町長 現在の浜ノ瀬の港の現状からすると、構造物から少し離れた海岸のどの箇所でも侵食が起こるといふ予測については、大変難しい

ことであった。

質問 これまで講じた対策について効果はあったのか？

町長 ふとんマットは当初から永久的にはなりにくいものである認識はあったが1～3年間は効果があり、評価できるものであったと認識している。

質問 高波によって護岸が崩壊したまま放置されている現状と今後の対策は？

町長 昨年の被害から県と幾度も協議し、恒久的な対策を要望してきた。

消波ブロックの手直しと海岸に放置されたふとんマット破片等の整理、防潮堤の嵩上げを計画している。平成27年当初には地元への説明会を行い、できるだけ早い着工を実施したいとのこと、町として、9月には完成するよう要望している。

第2期工事との関連

質問 第2期工事を先にひかえた形で現行の侵食対策を講じているのか、それとも第2期工事とは切り離し

て対策を行っているのか？

産業建設課長 第2期工事については、はっきりしていないのが現状である。

ふとんマット等の対策はあくまでも永久的なものではなく仮の対策であるという認識。

質問 先ほどの計画でこの問題が解決するとは考えにくいと思うが、壊れたら修復をまだ繰り返すのか。

抜本的な対策が必要では。第2期工事と絡めて解決していくのか、浜の整備を

より強固なものにしていくのか、沖に防波堤を造るような事も考えられるのか。

産業建設課長 第2期工事

というのは現実のところ難しいと考えている。

第2期工事とは絡めないで県に対策を要望し、その結論として今回の計画があがったものである。

しかしながら、ブロック等は被害を受けるものと考えており繰り返し手直しをしていかざるを得ないと考えている。



▲現在の荒れた浜ノ瀬海岸

一般質問

質問 家具転倒防止の推進を

答弁 対象世帯の制限緩和で対応



中西 満寿美 議員

質問 地震に備え住宅耐震補強、家具の固定が大事。26年度の実績は。

町長 耐震診断7件、耐震補強新築設計4件、耐震改修及び建て替え3件、家具転倒防止は2件。

質問 阪神大震災時、死者の8割は家具や家屋の下敷きだ。もっと進める必要がある。

防災企画課長 26年度から現地建て替え新築住宅が補助対象となった。「地方創生先行型」の古家解体補助と合わせ促進する。

家具転倒防止は対象世帯の制限緩和で進めたい。

質問 町内空き家状況を調査し、道沿いの廃屋を空き家対策特別措置法によって解体を進めないのか。

町長 措置法については、

まだ詳細情報がない。情報を入手し関係各課で協議したい。私有権もあるが検討していく。

介護保険について

質問 第6期介護保険事業計画策定の際のアンケートで明らかになった当町高齢者の現状と課題は。

町長 介護の認定を受けていない方も日常生活動作で50.4%が不自由に感じている。

介護者の中で28.3%がヘルパーだ。

質問 平成29年度に新総合事業に完全移行するとあるが、どんな準備が必要か。

健康推進課長 地域包括支援センターの機能強化に向けた体制づくり、人員確保、組織改編を視野に入れ取り組む。

質問 今年8月から一律1割の利用料の引き上げ、施設入所者の居住費・食費の負担軽減が縮減されるが、具体的にどう変わるのか。

町長 年金収入280万円以上の人は2割負担に、預貯金1000万円以上の人は

軽減の対象外となる。

質問 第6期介護保険料標準月額額は5820円と100円アップとなったが第7期6640円、第8期7687円と推計される。保険料引き上げをやめる手立てはないのか。

町長 給付を抑えるため予防事業を充実させ健康寿命を延ばすことだ。

質問 国の負担割合25%を増やすことについて要望しないのか。

町長 国の動向を見守るしかない。



▲いきいきサロンで活動する（ちちろこ会）



◀いきいきサロンで活動する（みつや会）

一般質問

質問 地方創生法、5年後の人口予測は？

答弁 7,500人台をキープしていきたい。



田淵 勝平 議員

質問 今、地方の再生が日本の再生、創生にかかっている。

地方創生「まち・ひと・しごと創生法」とはいかなるものであると理解しているか。

石破地方創生担当大臣は、計画策定に当たり到達目標を明確に示し「プランだけでなく、チェックへの住民参加が必要」としている。

どのような手法で取り組んでいこうと考えるか。

町長 地方創生法に基づき、将来の人口ビジョンを策定し、今後5年間の目標や施策をまとめた地方版総合戦略を策定する。

策定にあたり、多くの方々の意見を反映することが重要であるため、住民はもちろんのこと、行政機関、

各種団体、民間事業者などで構成する組織を立ち上げる。

また、施策や事業に対する数値目標や客観的な指標を設定し、効果の検証を行うことが求められており、検証についても同様の組織で検証し、必要に応じて総合戦略を改訂し、人口対策につながる施策を実施していく。

質問 プレミアム商品券のような施策もあるが、この創生法に基づいた地方版総合戦略が主になる施策だと思ふ。

この組織、いつ頃立ち上げて、いつ頃に結論を出すのか。

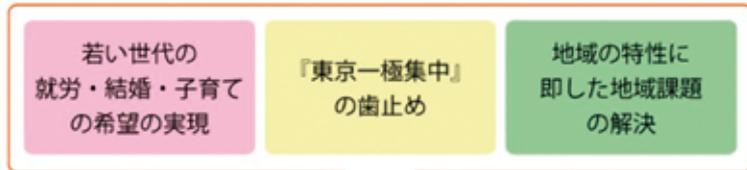
防災企画課長 組織は27年度中に立ち上げる。

先ず委員の選任をし、国の手引き書に従って策定するが、ごこの自治体も始めての経験なので、不明な点も多くある。

さらに、27年度に町の長期総合計画の後期5力年の策定も必要である。

その長期総合計画と、この地方版総合戦略の計画の整合性、関連性も求められる

3つの視点



「しごと」と「ひと」の好循環を実現するための、4つの目標

- ① 地方における安定的な雇用を創出
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

魅力あふれる地方を創生

▲創生法の4つの目標

ので、今後「確かな計画の策定」を目標に努力していく。

質問 この計画は、少子高齢化対策・将来の人口ビジョンが根本になると考える。

五年後の人口予測について

町長の腹の内をお示しいただきたい。

町長 現在は7,700人を切っている現実である。

私の希望として、できれば7,500人台をキープしていきたいと考えている。

一般
質問

質問 婚活サポートについて

答弁 雇用対策、生活環境整備、医療福祉の充実等複合的な施策が重要



北村 龍二 議員

質問 町長がこのたび目標に上げているのが、町づくりの基本目標で防災以外のほとんどが若者と高齢者に視点を置いた住みよい町づくりである。

人口減少のストップが大きく繋がっているという事が伺い知れる。

美浜町の婚活者数を増やし町に活気を与え、超高齢化に歯止めをかけなければならぬ。

このことから婚活サポート事業が重要だと考えるが、**町長** 婚活サポート事業委託業務については、地方創生事業を実施する上で議員が言う雇用対策、生活環境整備、医療福祉の充実等複合的な施策が重要であると考えている。

平成27年度には多くの



方々のご意見を反映した中で今後の指標となる地方版総合戦略を策定していく。

300万円をどう使うか？

質問 和歌山結婚サポートセンター、こちらだけで300万円という金額を使う予定か。

防災企画課長 業者の選択だが、これについてもまだどついった形かを相談している段階。

もつと案を練って

質問 本町も平成26年度の補正予算に入ってきたが、町長もゆっくりじっくり人づくりをしていかなければならないと言っていたが、この婚活サポート事業も人口増加の人づくりであり、練りに練って十分な準備が必要ではないか。

防災企画課長 若い職員や専門家の意見も聴き調整をし、できるだけ有意義な婚活サポート事業を検討していきたい。



▲期待される婚活サポート

地域の特徴を生かして

質問 婚活の趣旨である人口減少のストップ、超高齢化のストップのため同じ町からの男女ではなく、地場産業と密着したパーティーの取り組等を検討しては。

防災企画課長 例えば一日だけの婚活パーティーにするのか、議員が言った一泊二日にするのか煙樹ヶ浜の地引網、きゅうり・イチゴ等の農業体験など方法を考えていく。

小学校入学式



人事

監査委員（議会選出）

美浜町大字和田

一〇三七番地の一

中西 満寿美

人権擁護委員（諮問）

美浜町大字吉原六八三番地

三上 良章

美浜町大字和田

一一三八番地の二七六

田中 紀子

美浜町農業委員（議会推薦）

美浜町大字和田一〇四五番地

狩谷 実男

美浜町大字和田一八七番地

久保 善彦

和田財産区管理委員

塩崎 葵

山本 勝

三尾財産区管理委員

若野 博一

安東 八重子

椎崎 正弘

玉置 延行

中西 克治

三輪 健一

杉本 規一

古糸 清光

津村 信一

濱出 治男

鳥居 信一

濱田 芳紀

あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読んだ感想など、何でも結構です。あなたの声を議会事務局までお寄せください。

《連絡先》

美浜町議会 議会事務局

TEL 23-5544 (FAX 兼用)

mail gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp

URL <http://www.naxnet.or.jp/~mihamachogikai/>



写真提供:「これカラークラブ」
山口正英氏 山口節子氏 堀口良三氏